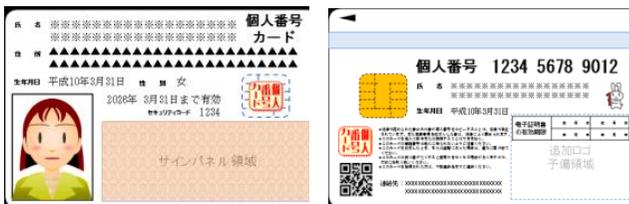


個人番号カード・通知カード と 住民基本台帳カードの比較表



イメージ



	個人番号カード (平成 28 年 1 月交付開始)	住民基本台帳カード (現行サービス)	通知カード (平成 27 年 10 月全国民配布)
1 様 式	<ul style="list-style-type: none"> 個人番号を券面に記載（裏面） 顔写真を券面に記載 	<ul style="list-style-type: none"> 住民票コードの券面記載なし 顔写真は選択制 	<ul style="list-style-type: none"> 個人番号を券面に記載 顔写真なし
2 交 付	<ul style="list-style-type: none"> 郵送での申請後、1回の来庁で交付 	<ul style="list-style-type: none"> 即日交付または窓口にて2回来庁 	<ul style="list-style-type: none"> 全国民に郵送で送付するため、来庁の必要なし
3 初 回 手 数 料	<ul style="list-style-type: none"> 無料 	<ul style="list-style-type: none"> 500円（能美市は無料） 	<ul style="list-style-type: none"> 無料
4 カード有効期間	<ul style="list-style-type: none"> 発行日から10回目の誕生日まで (未成年者は5回目の誕生日まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 発行日から10年間 	<ul style="list-style-type: none"> 個人番号カードの交付を受けるまで
5 利 便 性	<ul style="list-style-type: none"> 身分証明書としての利用可能 電子申請等に利用可能 社会保障、税、災害時等、番号法上義務付けられている本人確認時の利用を想定 	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真つきのものは身分証明書として利用可能 公的個人認証を搭載すれば、e-Tax等、電子申請に利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 個人番号カードの交付を受けるまでの間、行政機関の窓口等で個人番号の提供を求められた際に利用可能